

## サハリン州漁業庁職員が北海道との相互派遣研修で本会を訪問

サハリン州漁業庁職員が、本道の水産分野の相互理解を深める目的のため8月28日から9月10日までの間、北海道内の水産事情の研修のため来日しました。

こうしたロシア極東地域と北海道との間の行政における相互交流研修は毎年度行われておりますが、この度はコルサコフ港からフェリーを利用して道内入りしたもので、8月31日に水産業界の事情視察のため、道水産林務部漁業管理課職員とともに北海道水産会を訪問しました。

本会では、高橋副会長から本会の役割やロシアとの各種漁業協定交渉など、日ロ間の漁業協力関係の醸成が一層必要との話題を提起しました。

写真はバキンスキー・ドミトリー・ウラジーミロヴィチ 主任補佐官を囲み道内水産業の事情を説明する高橋副会長、並びに水産会職員との記念写真

